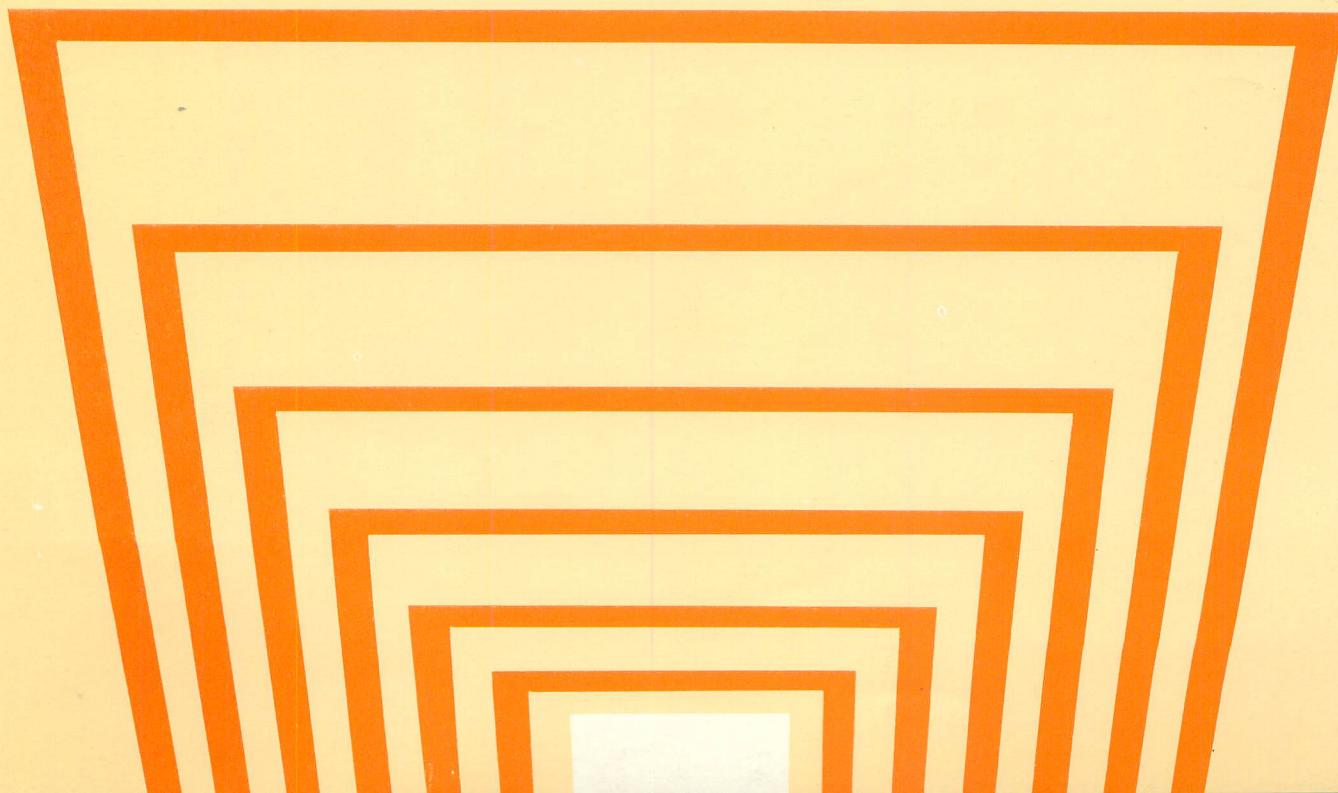


第21回  
東西  
四大学  
合唱  
演奏会



## ご挨拶

本日はお忙しいところを、私達東西四大学合唱演奏会にご来場下さいましてありがとうございます。

1952年の第1回演奏会以来、幾多の困難を乗り越えて、本日ここに21回目の演奏会を迎えることとなりました。これも皆様方の暖かいご理解、ご支援の賜物と深く感謝しております。

光輝ある歴史と伝統を持つ遠隔の四校が一堂に会して演奏会を催すことは大変意義深いことであり、単なる発表の場として終ることなく、相互の刺激と励ましとによっての切磋琢磨を通して、高度な合唱精神、合唱技術を身につけ一層の発展を期すと共に、少しでも日本の合唱音楽の向上に役立てばと考えております。

最後にこの演奏会を開催するに当たり、御援助、御指導下さいました諸先生、関係者の皆様に厚く御礼申し上げると共に、今後とも、よろしく御鞭撻下さいますようお願い致します。

《東西四大学合唱連盟》

### 担当マネージャー

坪井研治(慶應)

島橋宗久(同志社)

石井清(早稲田)

吉村明(関学)

第 2 1 回

# 東 西 四 大 学 合 唱 演 奏 会

1 9 7 2

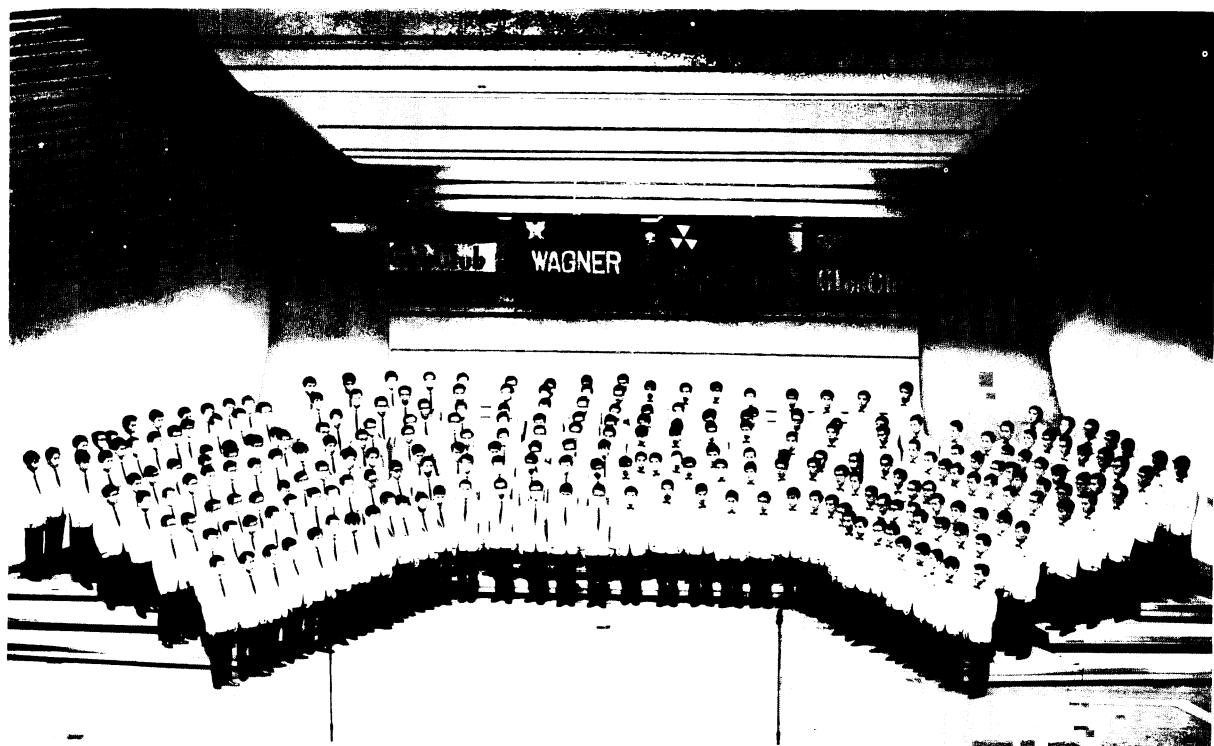
7月1日(土) <6:30PM>

京都会館第一ホール

7月2日(日) <6:30PM>

大阪フェスティバルホール

主催 東西四大学合唱連盟



# MESSAGE

慶應義塾ワグネル・

ソサイエティー男声合唱団部長

## 千 種 義 人

第21回東西四大学合唱演奏会を迎えた事を、心からお喜びしたい。

アマチュア合唱界を代表する、同志社、関西学院、早稲田、慶應義塾の四大学が、毎年一度、日頃養った、それぞれの力を持って演奏会を開く事は非常に意義深い事である。昭和27年9月に京都、大阪において第1回の演奏会が開かれて以来、回を重ねるごとにその実力を向上させ、20年にわたって成長してきた。これを可能ならしめたのは、その時々の学生諸君によって音楽に捧げられた情熱であろう。音楽に対するものは、単にこれを楽しむだけではなく、これを進歩させ、かつまた、これを通じて人間自身をも高揚させなければならない。相異なった環境にある四大学の諸君が、日頃の練習の成果を交歓し合い、お互いに切磋琢磨し合う事は、今後のクラブ活動の上に、プラスになるだけではなく、ステージに立つ学生諸君1人1人の上にも大きな実りがあるはずである。合唱による芸術追求は容易ではない。しかしこの険しい道を、全人的な、真撃な態度と意気を持って歩まなければならない。

このようなことをふまえて今日の演奏会に臨まれるよう期待するものである。今回の演奏会のお世話をいたゞいた同志社大学と関西大院大学の方々に厚くお礼申上げたい。



同志社グリークラブ顧問

## 遠 藤 彰

昨年この東西四大学合唱演奏会は20回目を数えた。それぞれの合唱団はそれぞれ長い歴史と豊かな伝統を有する独自な合唱団であるが、本邦におけるこれらの代表的男声合唱団があい集って共に技を競い歓を交わすことはまたそれぞれの合唱団に大きな刺戟と収穫を齎らさずにおかない。この共同のわざもすでに20年の成長の歴史を経て、いまや成熟の時期に一步を踏み出すわけである。どのような成果をこよいは見せて貰えるであろうか。来場の皆さんとともに期待をもって傾聴したい。

## MESSAGE

早稲田大学グリークラブ副会長

上 田 稔

本年4月6日より5月5日まで1ヶ月にわたって行なった私共早大グリークラブの米国演奏旅行は、リンカーン・センター主催の第3回世界大学合唱祭の一環でありましたが、演奏曲目には日本民謡、パレストリーナのミサ曲、石井歓氏の「曠野をゆく」、それに今日のプログラムの三木稔氏の「阿波」が含まれており、中でもこの最後の曲はその強烈な日本のフレーヴァーのためか関心をもつ米人が多いようでした。

今日の東西四大学合唱演奏会の私共のプログラムにこの「阿波」が入れられたことはその意味でも意義深いと思います。米国で海外の多くの合唱団との共演をし、幾多の貴重な経験をつんで来た団員がどのような進歩を示したかをお聞きいただければ幸いと存じます。



関西学院グリークラブ顧問

東 山 正 芳

東西四大学のグリークラブ・男声合唱団の合唱演奏会も21回目を迎えて皆様の前に男声合唱の美しさと楽しさを競いあうことのできることは大きな喜びです。

21年という年月を振りかえってみても混乱と紛争の中で声楽一筋にのびてきた私達の軌跡に微笑と誇りの気持の浮びあがるのをおさえることができません。一面、時の流れと共に合唱技術も曲目選択も変ってきたことは感じとられます。一面、よくその伝統と特徴を保持してきました。ほんとうに人間の心にしみいる芸術はこのようなものをもっているからだと思います。

規模の大きな私大として、各々伝統を誇る私大として、慶應、早稲田、同志社、関学の四大学が一つのステージから聴衆の皆様に声楽を通じて接しうるこのすばらしさを心から祝わざるをえません。

# PROGRAM

## エール交歓

K Y O T O

早 稲 田  
関 西 学 院  
慶 應 義 塾  
同 志 社

O S A K A

慶 應 義 塾  
同 志 社  
早 稲 田  
関 西 学 院

### 第Ⅰ部

#### ● 慶應義塾ワグネル・ソサイエティー男声合唱団

Jagdlieder

1. Zur hohen Jagd.
2. Habet Acht!
3. Jagd morgen.
4. Frühe.
5. Bei der Flasch.

作 曲 R.Schumann

指 挥 木 下 保

ホルン伴奏 慶應義塾ワグネル・  
ソサイエティー オー  
ケストラ

#### ● 同志社グリークラブ

合唱のための「三つの抒情」

- 1 或る風に寄せて (立原道造)
- 2 北 の 海 (中原中也)
- 3 ふるさとの夜に寄す (立原道造)

作 曲 三 善 晃

編 曲 福 永 陽一郎

指 挥 福 永 陽一郎

ピアノ伴奏 笠 原 進

# PROGRAM

## 第Ⅱ部

### ●早稲田大学グリークラブ

「合唱による風土記—阿波」

作曲 三木 稔

1. たいしめ（鯛締）

指揮 向川原 慎一

2. 麦打ち

3. もちつき（餅搗）

4. 水取り

5. たたら（踏鞴）

### ●関西学院グリークラブ

**SEA SHANTIES**

編曲 Robert Shaw

1. Swansea Town

指揮 北村 協一

2. Haul Away, Joe

3. Blow The Man Dawn

4. What Shall We Do With The Drunken Sailor

5. Low lands

6. Whup ./ Jamboree

## 第Ⅲ部

### ●合同演奏

L.V.ベートーベン作曲

指揮 畠中 良輔

歌劇『フィデリオ』より

伴奏

囚人の合唱

第1ピアノ 伊奈和子

R.ワグナー作曲

第2ピアノ 福永陽一郎

歌劇『さまよえるオランダ人』より

ピアノパート編曲

水夫の合唱

福永陽一郎

幽霊船の合唱

◎1日(土)は第Ⅰ部と第Ⅱ部を入れ替え。尚、第Ⅲ部はそのまま演奏いたします。

# 曲目解説 慶應義塾ワグネル・ソサイエティー男声合唱団

## Jagdlieder (狩の歌)

“ロマン派の音楽は、何か神秘的な性質を備えていた。そこには、明確なものから、ややぼんやりとしたものへという逃避があった。その逃避した場所において、visions が現われ、wonder が再び可能になった。結局、黄昏のみならず、夜それ自身の中への逃走があった。“夜”は、ロマン派の活動の最も優勢なシンボルの一つになった。そして音楽の中の夜という象徴は、魔術的音の根本的要素である。” (Alfred Einstein) 残りに夜の森において、ロマン派の詩人達はくつろぎを感じ、自然の神秘さや生命の秘密の中に没頭したのである。その静けさの中で彼らは人間の主に対する、生きとし生ける物に対する、そして生命と死に対する関係を感じとるに至った。

森や狩の回想を祈り願うために作曲家達がホルンに目を向けたのはごく自然なことであると言えよう。ホルン (Waldhorn or forest horn) は、ロマン派の“おはこ”的な楽器であった。この楽器の表現に富んだ、ちょうどヴェールをかけられたような、何かくすんだような音色は、作曲家、作曲家達にロマン派持ち前の感情の深さにうまく適合した音量の質を与えた。トランペットのような楽器を思い浮かべれば、その差がはっきりと理解できる。ペットは、公的儀式や軍の行動など、いわゆるdemonstrativeな場合によく使われる。しかし、ホルンは森の気分を表現するためのものであった。その音色は、土地——大地を思い起させ、より内省的、自己観察的である。逆説的に言えば、ホルンの音色は、静寂さがより高められたらしく、知覚される状態を創り出し得る、ということになる。Schubert は、彼の無伴奏合唱曲 “Die Nacht” で、夜の世界の静かな驚異を、静寂な力強さと長い、計画された沈黙によって表現している。しかし、彼は “Duett” において静けさを、そしてそれに加えて空間の表現を、ホルンのこだまや残響によって得ている。我々は、その効果を、ある距離を持つ丘からの静かな響きをホルンが演奏するということを知ることができる。

さて全く対照的なより幸福な雰囲気は、狩又は狩人の歌によってあらわされる。そこでは、安眠、夢、死などは問題ではなく、生命の蘇生、人間や生命を持つ物すべての目を再び醒ませること、そして新しい行為への挑戦が問題となってくる。状況設定は夜明けである。以下、このJagdlieder (狩の歌) の解説である。

第1曲目 “Zur hohen Jagd” は、大物狩り又は鹿狩りのために、という意である。気高き赤き鹿を射よう！神は、この素晴らしい大地、森を我々に与えてくれた。また銃や明析な眼を与えてくれた………と歌う。まさに生命的讃美歌である。

第2曲目 “Habet Acht！” 狩猟中には種々の危険に遭遇するから用心しろ、という内容である。全体にPPが基調で、そのことが緊急感をいっそう強く表現している。更に突然のfやppの中でのcresc decresc等、我々を狩の現場に引き込むには絶好の技法であろう。

第3曲目 “Jagdmorgen” (狩の朝) は、狩に来たこの幸福を神に感謝し、故郷の家族を思い浮かべ、自分自身の内部にみなぎる生命本能を感じる時、頭上には夜明けの星が輝いている様から歌われ始める。夜明けが近くなるにつれ、狩への衝動がより強くなっていく狩人の心意気が伝わってくる。

第4曲目 “Frühe” (早朝) は、殊に音楽的で、又は視覚に訴えるといつてもよいような夜明けの印象を次の手法で表現している。つまり、上昇するモチーフの動き——連続する不協和音、長調と短調を行ったり来たりすること、そして終りで高いFis 音が鳴ることで、かすかな陽の光がさす様を表現する。

第5曲目 “Bei der Flasche” 『酒をかこんで』という意であるが、ドイツ人の狩人魂がいかに優れているかを、イギリス人、フランス人のそれを引き合いに出し、それらを徹底的に嘲笑することが歌われている。遠慮のないところが大変気持ちがよい。また、5番の歌詞の中で、『もし、國を守る必要がある時は、我々は武器に熟知しているから大丈夫だ。!!』、という箇所があるが、このことが愛国心の現われと後世みられるようになった。

さて、我々はJägerblut (狩人魂) を歌わねばならない。それを歌うことによって少しでも Schumann の世界、ひいては狩人たちの世界に接近できれば………と思っている。 (S. M.)

### 狩の歌の演奏にあたって

木下 保

ロベルト・シューマンがドイツロマン派主義文化の中で育ち、それに共感した音楽を作り謳歌したロマン音楽の一方の旗頭であったことは言うまでもない。

我々音楽を愛する者達の一般的通念として、シューマンの音楽は感情的空想的な微細な動きだけが特徴のように思い込んでしまって居る嫌いがなきにしもあらず、とも言い得る。ところが、さにあらざる対照的な最も男性的で粗野とも言へる感情を爆発させて快哉を叫ぶ痛快さを一面持っていた作家であった。

其の証左は彼のリードの中に無数に出て来るし、ピアノ音楽やシンホニーにまで時として顔を出して居る。

また古来のドイツ学生歌も好んで作品の中に織り込んで居ることも厳然たるものがある。

斯んなシューマンの一面を持つ「狩のうた」を此度慶應ワグネル男声合唱で歌い上げてみることの意義は十分かけることであろう。

「狩のうた」は全曲バルトホルン伴奏で書き上げてある。ホルンと言う楽器は同じ金管楽器の中でも王様と言われて居る程重要な中心的な役割の楽器であり、技術的に最も難しいものとされて居る。それだけに表情もまた豊かである。第2曲第4曲等は狩の憂愁と悩みが余すところなく吹き込んである。

此の至難の伴奏を同じ団体である慶應ワグネルの管絃樂部の学生諸君の演奏することも快事である。

何はともあれワグネル男声合唱部は傳統的にドイツロマン派音楽を好み得意とするところであります。実力が精一杯出せたら愉快である。御期待を乞う次第であります。

# 曲目解説 同志社グリークラブ

## 三善晃、そして「三つの抒情」

福永 陽一郎

作曲家・三善晃について書くことは、一人の天才について書くことだと思う。それは、おそろしいことである。モーツアルトを語る、シューベルトを語る、それは天才というものを解明することである。ひどくむつかしいことだ。しかし、それは、すでに歴史のうえで、いくつものすぐれた評伝家がすぐれた業績で解き明かしているもので、やりつくされたとは言えないにしても、時というものが、ある程度、力をかしている。

生きている天才、三善晃の場合は、文章は役に立たないかも知れない。しかし、三善の音楽は、それ自体で、三善の天才を表出し証明していると言えよう。三善の音楽は、音楽以外の何ものでもない。音楽でしかないもの！ 造形美術でもなければ、詩でもないもの。そして、自然そのものでもない。つくられた「美」そのもの。それは、ほとんど、神のめぐみの瞬間である。その美しさを生む、ごくまれな人間の一人が三善晃なのである。

もっとも、三善さんは、たいへん心のやさしい方で、天才あつかい、神さまあつかいにはお困りになるかも知れない。私が三善作品を指揮するとき、かまえとしては、真剣勝負にならざるを得ないが、実は、愛すべき宝石のように、そっと、大切になでてみたいような気持をもって接しているのである。三善晃の音楽は、演奏家にとって、とてもきびしい。いささかも、いいかけんなことを許されない。しかも、それは、優しく愛らしい。不思議な魅力にとらわれてしまう。

「三つの抒情」は、1961年から62年にかけて作られた女声合唱曲で、日本の女声合唱曲の中での白眉という定評ができる、すでに久しい。三善のように、自分が使う音素材を、ぎりぎりのところまで吟味して作品を書く作家の、完成された女声合唱曲を、男声用に編曲することは、冒険が過ぎるかも知れない。同志社グリークラブは、このところ、かつて無かったほど限定された人数でコーラスをしているわけだが、そこでだけ可能な、デリカシイとリリズムの追及の場として、あえて、この磨きぬかれた音楽とぶつかってみることを、強行した。失敗は許されぬことと覚悟し、誠心誠意、編曲にも練習にも努力をつぎこんだつもりである。ねがわくは、演奏が、作品をけがすものでないことを。男声合唱には不向きと考えられている常識的な表現力の壁のむこうにあるものを、つかみたい。

## 或る風に寄せて

立原道造

おまへのことでいつぱいだった 西風よ  
たるんだ唄のうたひやまない 雨の晝に  
とざした穿のうすあかりに  
さびしい思ひを噛みながら  
  
おぼえてゐた をのきも 頭へも  
あれは見知らないものたちだ……  
夕ぐれごとに かがやいた方から吹いて来て  
あれはもう たたまれて 心にかかるてある

おまへのうたった とはい調べだ——  
誰がそれを引き出すのだらう 誰が  
それを忘れるのだらう……さうして  
  
夕ぐれが夜に變るたび 雲は死に  
そがれて来るうすやみのなかに  
おまへは 西風よ みんななくしてしまった

## 北の海

中原中也

海にあるのは、  
あれは人魚ではないのです。  
海にあるのは、  
あれは、浪ばかり。

塗った北海の空の下  
浪はところどころ歯をむいて、  
空を呪つてゐるのです。  
いつはてるとも知れない呪。

海にあるのは、  
あれは人魚ではないのです。  
海にあるのは、  
あれは、浪ばかり。

## ふるさとの夜に寄す

立原道造

やさしいひとらよ たづねるな！  
——なにをおまへはして來たかと 私に  
やすみなく 忘れずてねばならない  
そそぎこめ すべてを 夜に……

いまは 嘆きも 叫びも ささやきも  
暗い碧の闇のなかに  
私のためには 花となれ！  
咲くやうに ほほふやうに

この世の花のあるやうに  
手を濡らした眞白い葉の散るやうに——  
忘れよ ひとよ……ただ！ しばし！

とほくあれ 限り知らない悲しみよ にくし  
みよ……  
ああ歸つて來た 私の横たはるほとりには  
花のみ 白く咲いてあれ！ 幼かった日のやうに  
(注 楽譜の中の詩は現代かなづかいにした。)

「合唱による風土記—阿波」について

この曲は1962年の11月から12月にかけて作曲され、翌1963年10月、全曲初演が行なわれた。但し「もちつき」だけは1961年4月に作曲され、その年の6月に磯部倅氏指揮の当早稲田大学グリークラブによって初演されている。

かっての音楽は全て労働に源泉し労働に還元され、思想にも感情にすらも優先したと思われる。この作品に一貫するものはその「労働」であろう。又労働の形態はそれ自体音楽の形式につながり得るものであり、この作品では伝統保存ということよりも、この地方に存在し、または存在した労働の形態から音楽を再創造することに、より多くの努力がはらわれている。したがって、部分的には生の民謡から得られた伝承旋律を使用しながら、多くは全く原型を止めぬものや、架空の旋律で構成されている。

以下その歌詞を紹介する。(なお、歌詞の中で掛け声は省略してある。)

1. たいじめ（鯛締）

うれしめでたの 若松きまは  
枝が栄えりや 葉も茂（しゅ）げる

岬鼻から 戻ろうとすれば  
鯛やサワラが 呼び戻す

貯めた貯めたよ この網や貯めた  
磯の藻綿で 又貯めた

2. 妙打ち

山で山鳥や 尾は長けれど  
しのぶその夜の 短かさよ

山が暮れても 山鳥や飛ばぬ  
可愛い我が子に 魁（ひ）かされて

鐘がゴンと鳴りや 早よいのいのと  
ここは寺町 何時も鳴る

3. もちつき（餅搗）

旦那大黒 奥さん恵比寿（えべす）  
ひとりある子の 福の神

御所のお庭で 扇を拾うて  
扇めでたい 末繁昌

伊勢へ七度（ななたび） 熊野に三度（さんど）  
若戸様へ ふき参り

世治まる 思ったなのさ  
末は鶴亀 五葉の松

一国二国三国一の  
餅搗きやすました  
ゴシャシャンノシャンシャン

4. 水取り

山鳥りや 子にこそ迷え  
たち別れまい この森を

じわじわと 突っこめや  
早や持ち上げる  
さても具合な はねつるべ

5. たらたら（踏鞴）

東西東西 東西南北 鎮まりたまえ  
エイエイサッサ エイサッサ  
ヤットサッサ エイサッサ  
ヨウそれ踏めや それ踏めや

親方酒手はどうじやい どうじやい

そんなら踏め踏め ャッシッシ

色はちっくり黒てもままで  
人に好かれる 笑顔よし

いつも無理に 頭布をかむり  
家で遊びをするよりは  
たらたら踏むのが面白い

エイエイサッサ エイサッサ  
ヤットサッサ エイサッサ  
ヤットコセ ヨイトナ  
コレワイセ さあさ何でもせ

(この曲は第3回世界大学合唱祭で演奏した曲です。)

## 曲目解説 関西学院グリークラブ

### Sea Shanties

Sea Shanty 海の男の歌は、オックスフォード辞典によれば〈水夫の歌、とくに重労働のときに歌われる〉という様に説明されています。シャンティはもともと、重労働のときに元気づけのためにかけ声をかけるというのが歌のかたちをとり、やがて労働歌だけでなく、水夫の歌すべてをシャンティと呼ぶようになりました。広い大洋の上を何ヶ月も航海する水夫達にとって、歌は彼等の大きな娛樂でありました。

ロバート・ショウと共にアレンジャーであるアリス・パーカーは、シャンティを3つに分類し、第一はhauling shantyといつて錨の巻き上げなど重労働のときに歌われるもので、水夫長や音頭とりの独唱にしたがって水夫が声を揃えて力を出すという純然たる労働歌です。第2はwindlass and capstan shantyといつて、錨の巻き上げやドック入りのひき船のときに歌われるもので、時間がかかるので、長くゆったりしたテンポで音楽的にも優れたものがたくさんあります。第3はfoc'sle shantyといつて、労働歌ではなく、勤務から開放された非番の水夫達が上甲板などに集まって歌うもので、ギターなどの伴奏も入ることがあり、内容も故郷や家族、恋人のことを想う感傷的なものや酒や世俗的なものが多い様です。またシャンティの特色として、パーカーは、フシの力強さや色どり豊かなイディオムはシ・シャンティの遺産を半ば代表するものにすぎず、さらに重要なことは、海の男の物語を生き生きとした実感をこめて、聞くものに感じさせ、歌を通じて塩氣を含んだ空気を吸い、広い大洋を航海し、機械化されていなかった時代に労働に汗する男たちの仲間入りをすることだといっています。

#### Swansea Town

恋人に別れを告げて出港し、ホーン岬をこえてサンフランシスコへ行くけれど、なつかしいスワンシーの町と恋人の許にきっと戻ってくるという内容の船出の歌で、行進曲風の明朗さにあふれています。

#### Haul Away, Joe

ゆったりとしたトゥ・ステップで歌われるイギリスのhauling shantyの代表的な曲で古いイギリス民謡にあるカノン風の進行のコーラス効果がおもしろく再現されています。歌の中にフランスのルイ16世が首を切られたとさといったことを詠みこんでいるのはいかにも労働歌らしい味があります。

#### Blow the Man Down

イギリスシャンティのなかでも特に有名な歌で、リーダーの独唱にコーラスが唱和する代表的な労働歌です。風よ吹き倒せ、やわな男を吹き倒せ、とうたいはじめ、船出前に景気をつけに出かけて、女とめぐりあったりする船乗り気質がうたわれています。

#### What Shall We Do with the Drunken Sailor

イギリスの労働歌としては最も古いもので、17世紀ごろから歌われていたとされ、楽天的な水夫の気質をまるだしにしたコミカルな曲です。

#### Lowlands

イギリスの典型的なcapstan shantyで、そのオリジナルは、南部航路のイギリス水夫がニグロスピリチュアルにヒントを得て、歌いはじめたのではないかといわれています。

#### Whup Jamboree

シャンティの中には、水夫の故郷の民謡のイディオムをそっくりとり入れたものが少なくありません。このfoc'sle shantyはアイルランドのリールという民族舞曲のリズムと旋法をとり入れた曲です。

#### ハワイ 第2弾 富士海外旅行・夏休み特別企画

### バカンスインハイ

7月31日 出発 5泊7日

特別価格 ¥ 135,000

締切迫る！ 7月10日(定員次第締め切ります)お早目にどうぞ

大阪支店(本旅行担当デスク)

大阪市北区堂島浜通り2丁目1番の1 〒540

サントリービル2階 電話 06-345-1281

谷垣(関学グリーO.B.)

お申し込み、お問合せは最寄りの富士海外旅行株式会社へ

京都営業所

京都市中京区油小路通り二条下ル

京都国際ホテル内 電話 241-2050(代) 〒604 谷垣

#### ミュンヘン・オリンピック特別企画

### 『ミュンヘン・オリンピックとヨーロッパ観光団』

昭和47年8月29日～9月11日：14日間

旅行先国 Aコース 東京～ミュンヘン(6泊)～ザルツブルグ(1泊)～インスブルック(1泊)～ミュンヘン(2泊)～パリ(1泊)～東京

Bコース 東京～パリ(2泊)～ミュンヘン(1泊)～チューリッヒ(1泊)～ローマ(2泊)～ロンドン(2泊)～コペンハーゲン(2泊)～パリ(1泊)～東京

旅行経費 Aコース 335,000 Bコース 385,000

# 曲目解説 合同演奏

合同演奏を指揮するに当って

畠中良輔



大正11年2月12日、門司に生まれる。昭和18年、東京音楽学校を卒業され、沢崎定之、ウーファーペーニッヒ両氏に師事された。

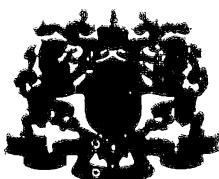
現在は、東京芸術大学教授、二期会理事、同合唱団常任指揮者として活躍されているかたわら、オペラ界にも進出され、積極的な声楽の指導にあたられている。

関西における「四連」の合同演奏の指揮をとるのは、今回が初めてです。と云っても、東京でも一回しか振った事はないのですが、その時も、今夕と全く同じ曲目で、数年前に演奏しました。

その時の、演奏側と聴衆側の火を噴くような感動の交流を、私は今でも忘れる事は出来ません。今回、「四連」の合同の話があった時、関西でこの感動を再現してみたいと考えました。殊に「さまよえるオランダ人」の第三幕の「ノルウェイ船と幽霊船の二重合唱」のくだりのすさまじさは、ヴァーグナーの音楽ならでは味わうことの出来ない、そして合同演奏でなければ不可能の音楽です。

「フィデリオ」の緊張の中にある静的な感動は、ベートーヴェンを最も尊敬したヴァーグナーの精神と直結しています。

われわれは今宵、文字通り「死斗を尽し」て演奏したいと思っています。そして、ドイツを代表するこの輝やかしい二つのオペラの中から、グリー メンたちがひとつの〈啓示〉を見出す事を念じています。



SUNTORY BAR

KYOTO

四条河原町東入ル南側 221-5638

# 曲目解説 合同演奏

## 囚人の合唱

「フィデリオ」はベートーヴェンの作曲した唯一のオペラで、スペイン貴族フロレスタンの妻レオノーレが男装してフィデリオと名乗りながら獄卒として監獄の中に入り込み、政敵のためにそこに幽閉されている愛する夫の命を救うという筋である。第一幕のフィナーレで、哀れな囚人達は中庭へ出ることを許される。牢の扉が開かれると彼等はゆっくりと出て来て、硬くなった手足を伸ばしながら、しばらくの間にせよ墓場の様な牢内から光の中に出て来て外気に触れた喜びを、この「囚人の合唱」の中に歌うのである。

Ghor. O welche Lust,o welche Lust,in freier Luft, den Atem leicht zu heben,o welche Lust;nur hier,nur hier ist Leben,der Kerker eine Gruft,eine Gruft.

Gefangenerl. Wir wollem mit Vertrauen auf Gottes Hilfe,auf Gottes Hilfe bauen,die Hoffnung flüstert sanft mir zu,wir werden frei,wir finden Ruh,wir finden Ruh.

Chor. O Himmel, Rettung, welch ein Glück, O Freiheit, O Freiheit, kehrst du zurück, Kehrst du zurück ?

Gefangener II. Sprecht leise,haltet euch zurück,wir sind belauscht mit Ohr und Blick wir sind belauscht mit Ohr und Blick.

Chor. Ja leise, leise ! O welche Lust, O welche Lust in freier Luft, in freier Luft den Atem leicht zu heben, O welche Lust, Sprecht leise, haltet euch zurück, wir sind belauscht mit Ohr und Blick.

囚人の合唱 何とうれしいことだ。何とよろこばしいことだ。自由な空気の中でやすやすと呼吸ができるなんて、何といううれしさだろう。ここにのみ、ここだけに人生はあるのだ。牢屋は墓だ、墓穴だ。

囚人 I 我々は神のすくい、神の救済を頼りとしよう。希望がやさしく私にささやく。我々は自由の身となり、いこいをみいだそう。やすらぎをみいだそうではないか。

囚人の合唱 おお神よ、すくいよ、何たるしあわせよ。おお自由よ、自由よ、自由は帰って来るのか、もどってくるのか。(このとき、1人の士官が城壁の上にあらわれ、また去っていく)

囚人 II 静かに話をしろ。さがつていろ。我々は耳と目で看視されているぞ。見張りが目を光らせき耳をたてているのだぞ。

囚人の合唱 しずかに、何たるよろこびぞ、何たるうれしきよ、自由の空気の吸えるよろこび、おおなんたるうれしさ。しずかに話せ、さがつていろ！我々は耳と目で看視されているのだ。

(音楽之友社発行・オペラ対訳シリーズ「フィデリオ」より)

## オーディオシアプレゼント

夏いちばんのラッキーチャンス――

7月31日まで

ヤマハステレオお買上げの方にステキな楽しみ!!

ステレオでオーディオシア  
コンポーネントでライブレコードを、  
第2回世界歌謡祭実況録音盤  
もれなくさしあげます。

大阪市南区心斎橋筋2丁目39番地

日本楽器製造株式会社心斎橋店

電話 (211)8331(代)~9番

# 曲目解説 合同演奏

## 水夫の合唱、幽霊船の合唱

本日演奏される二曲はワーグナー作曲の歌劇「さまよえるオランダ人」の第三幕に歌われる曲である。

悪魔の呪いのため七つの海を乗り廻すべき運命を負わされていたオランダ人の船長は七年に一度だけ陸地を踏むことを許されていた。そしてもし彼と生死を共にする程の愛情を抱いた女性を得られれば、呪いは消滅することになっていたのである。そしてノルウェー人の船長ダーラントの娘ゼンタの愛情によってオランダ人の船長の罪があがなわれる所以である。ワーグナーの全楽劇に共通する「救済の思想」の力がここでもドラマの根底にある。

第三幕、ノルウェーの水夫達は甲板で愉快に合唱している。それに対してオランダ人の船（幽霊船）は無気味な沈黙に掩われている。と、突然静かだった海に波が立ちはじめ、オランダ人の水夫達の合唱が始まる。ノルウェーの水夫達は歌い負かそうとするが、海の騒音、不自然な暴風、さらにオランダ船の無気味さに沈黙してしまう。オランダ人の水夫達はそれを見てかん高い声で嘲笑する。そして海は再び元の静けさに戻る。

### ノルウェー船の船員たち

蛇手(かじ)どん、見張りはやめて、  
舵手どん、こっちへこいよ。  
ホー、ヘー、イエー、ハー。  
帆を巻きあげろ、錨をおろせ。  
舵手どん、こいよ。  
すごい嵐を いく夜も見張り  
しょッからい水も たびたび飲んだが、  
きょうの仕事は 飲めや歌えや、  
娘がはこぶは 樽の酒。  
フッサッサへー、  
浅瀬も嵐も、  
ヨロホへー、  
笑ってとばせ、  
フッサッサへー。  
帆をたたんだら、錨をかためろ。浅瀬も  
嵐も、笑ってとばせ。  
舵手(かじ)どん、見張りはやめて、  
舵手どん、こっちへこいよ。  
ホー、ヘー、イエー、ハー。  
舵手どん、こいよ。いっしょに飲もう。  
ホー、ヘー、イエー、ハー。  
浅瀬も嵐も  
みなすぎさった。  
フッサへー、ハロへー。  
フッサへー、舵手どん、おい、  
こっちへこいよ、いっしょに飲もう。

帆をたため、錨をおろせ。  
フーイ、サー。  
入江のなかへ、走りこめ。  
黒衣の船長、さあ陸(おか)へ。  
また七年が すぎましたぞ。  
金髪の娘を お求めなさい。  
逢った娘は、まごころつくせ。  
きようはたのしい  
花婿の日だ。  
嵐は結婚の曲をかなで、——海はそれにあわせて踊る。  
あ、船長の笛の合図だ。  
船長、もうお帰りですか。  
フーイ。帆をあげろ。  
花嫁さんを、どこへおいてきたんです。  
フーイ。さあ出帆だ。  
船長、船長、恋にはやっぱり運のないあなた。  
ハハハ。——  
叫べ、嵐。ほえろ、嵐。  
びくともしない この船の帆だぞ。  
サタンが魔力を 封じたこの帆は  
未来えいごう 破れはしない。  
ああ永遠に 裂けもしない。

### ダーラントの水夫たち

(はじめはふしぎそうに、やがては恐ろしそうに、見たり聞いたりしていたが)  
なんという歌だ。

幽霊か？ ぞつとする。  
おい、始めよう。おれたちの歌を。大声で——  
舵手(かじ)どん、見張りはやめて  
舵手どん、こっちへこいよ。  
ホー、ヘー、イエー、ハー。

### 幽霊船の船員たち

ヨホホエ、ヨホホエ、ホーエ、ホーエ、  
ホーエ。フーイ、サー。  
嵐が陸(おか)へ吹きつける。  
フーイ、サー。

**Nikon LENS PHOTOGRAY™ 太陽にあたると色がつく理想のレンズ！**



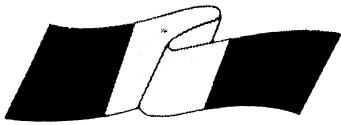
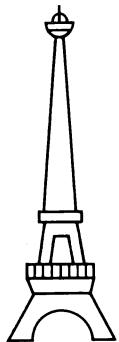
《学割の棍彥メガネ店》

- 紫外線の強弱に応じて濃さが自動的に変わります
- 室内・室外兼用レンズです
- 有害紫外線はカット
- スキーグラスに最適です
- マブシサを防ぎます
- 見る物の色は変わりません
- 見る人に好印象を与えます

梅田店 大阪駅専門大店〈デンワ〉341-6481

布施店 布施モードパート〈デンワ〉782-1301

西宮店 出張販売 〈デンワ〉0798(51)0898



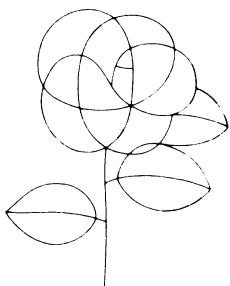
佛蘭西風喫茶室

**フランソア**

4 JOKOBASHI NISHIZUME MINAMI

TEL. (351) 4042

あらゆる印刷のご相談は…



ART PRINTING

高級美術印刷

株式会社 **太陽堂印刷所**

大阪市南区瓦屋町 2-73  
TEL (06)761-1546 代表

## 指揮者プロフィール

慶應義塾ワグネル・ソサイエティー男声合唱団指揮者

木 下 保



明治36年10月14日兵庫県豊岡に生れる。大正15年、東京音楽学校を卒業。昭和3年同校研究科を修了される。在学中は、ネトク・レーヴェ氏に師事された。昭和8年から10年まで、ドイツ、イタリアに留学され、ドイツではバイセルボン氏に師事された。帰国後は、母校の教授として教鞭をとられるかたわら、リート歌手として活躍された。辞任後はオペラにも進出され、「タンホイザー」「ローエンゲリン」など、数多くオペラの初演を手がけられた。又「夕鶴」などに代表される日本の歌曲に対しての非常に卓越した解釈は、他の追随を許さない。現在では、洗足学園大学教授、大阪音楽大学講師として、又、東唱、日本女子大、聖心女子大など、プロ・アマの数々の著名な合唱団の指揮者として、文字通り東奔西走の御活躍をなさっている。ワグネルは先生が音楽学校在学中より30余年あまりお世話になっており、その御尽力により一昨年慶應義塾の名譽塾員になられた。

会場の拍手が終り指揮台に立たれた先生がゆっくり手を動かされたその瞬間から、ワグネリアン全員の心は、先生の音楽の中に吸収されてしまう。その大柄なお体とは対称的に、デリケートに動く指先や、ある時には、大きく振り下される先生の手を必死になって追い続いていると、不思議に、何の言葉もなしに、先生がわれわれに何を語りかけ、何を求められているかが

体得出来る。妥協を排し、厳しさを要求される先生ではあるが、練習を終えると気軽に部員と話をされ、今春は六大学野球での慶應の活躍の話に花が咲く事もありました。男らしく、そしてサッパリした性格の先生にワグネリアンは、音楽の面はもちろん、人生の先輩として真底から敬愛しています。この偉大な先生に指導を仰ぐ我々は、ワグネルにいる事の喜びをひしひしと感じます。

同志社グリークラブ指揮者

福 永 陽一郎



1926年 神戸に生れる。東京音楽学校（現芸大）本科ピアノ科出身、1951年藤原歌劇団に入団、ピアニスト、副指揮者、合唱指揮者として経験を積む。1956年～65年藤原歌劇団常任指揮者として活躍、同団の第三次渡米公演に同行。アメリカ、カナダの主要都市での公演を指揮した。1959年、61年、63年、67年イタリア・オペラ来日公演には副指揮者、合唱指揮者として参加。歌劇指揮者として、レパートリーは50数種のオペラを持ち、日本屈指のベテランである。

NHK-TVでは、「楽しいコーラス」「音楽をどうぞ」「音楽は世界をめぐる」のレギュラー指揮者をつとめ、他に「芸術劇場」「夢のセレナーデ」にも登場している。

合唱音楽に関して経験が深く、合唱界の第一人者の一人である。1952年、畠中良輔氏と共に、東京コラリアイーズを創立、日本最高のプロ男声合唱團に育てた。アマチュア・コーラスに対する理解と情熱も過去二十年間、断絶することなく持続され、客演指揮、合唱講演会の講師、コンクールの審査員として、全日本の活躍。又、合唱用の編曲作品は数百曲に及ぶ。

関西学院グリークラブ指揮者

北 村 協 一



昭和28年、関西学院大学経済学部卒業。在学中、関西学院グリークラブの指揮者として活躍。卒業後、東京コラリアイーズ入団。昭和31年、同団の指揮者、ルナ・アルモニコの指揮者等を経て、昭和36年、藤原歌劇団入団。合唱部クールプティー専任指揮を努め、昭和38年6月、同団によるプッチーニ「外套」を指揮、オペラ指揮者としてデビュー。昭和40年退団。東京コラリアイーズ指揮者。グリークラブ渡米指揮者。畠中良輔、森正、今村征男の各氏に師事。二期会研修生講師。

現在、二期会指揮者。東京室内歌劇場指揮者。

早稲田大学グリークラブ指揮者

向 川 原 慎 一



1949年、名古屋市生まれ、1968年に私立東海高校卒業後、翌1969年、早稲田大学第一政経学部政治学科に入学。卒業は1973年の予定であるが、かなり流動性があるのではないかというのが大方の見解である。

高校時代よりすでに合唱界では活躍している。グリークラブの指揮者としては、昨年8月、正学生指揮者が急病で倒れた為、代役に金沢で振ったことはあるが、正式には、今回アメリカ演奏旅行中、セントルイスのワシントン大学でデビュー。大好評を博す。現在、横浜のある合唱団の指揮者としても活躍中である。

そして、彼も又、大多数のグリーメン同様、練習場と雀荘を往復し、暇があると授業に出るという典型的なグリーライフを送っている。ちなみに彼の好きなものは1に？、2に合唱、3、4がなくて5に麻雀であるということである。

## 伴奏者プロフィール



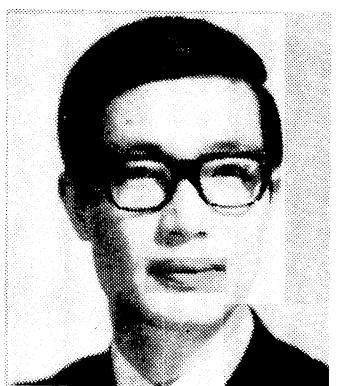
### ピアノ

伊奈和子

大阪府出身、井口基成門下。

デビュー以来20年、ベテランピアニストとして各分野で活躍されている。1963～1964年、そして1971年と2度ドイツに留学され、ウィルヘルム・ケンプ及びロースル・シュミット教授に師事される。

1965年、大阪府文化祭賞を受賞され、現在、相愛女子大学音楽学部助教授。



### ピアノ

笠原進

昭和38年 大阪学芸大学特設音楽課程ピアノ科卒業

昭和39年 同専攻科修了

昭和39年 ミバルトーク・ミクロコスモス全曲演奏会、に出演

昭和40年 『古典派<ピアノ>演奏会、に出演

昭和43年 ノースウエスタン大学音学院修士課程修了

昭和44年 リサイタル（毎日国際サロン）

昭和45年 『シューマンの夕べ、に出演

現在 同志社女子大学専任講師



鴨の流れ比叡の山なみを一望  
まさに京のホテルです。

〈広大な滝の眺めも楽しいレストラン & &バー〉

■ラウンジ「葵」

しゃれたテートタイムをお過ごし下さい。コーヒー￥150  
ビザハイ￥700 ケーキ￥150

■鳥・天ぷらコーナー「ほこ」

お気軽なカウンターコーナー。らきとり(1串)￥100より  
釜めし￥350 お墓漬￥350

■レストラン「ちどる」

御家庭パーティ 同窓会などに好評 欧風テーブル料理を  
1卓(4名)￥6,000～￥10,000

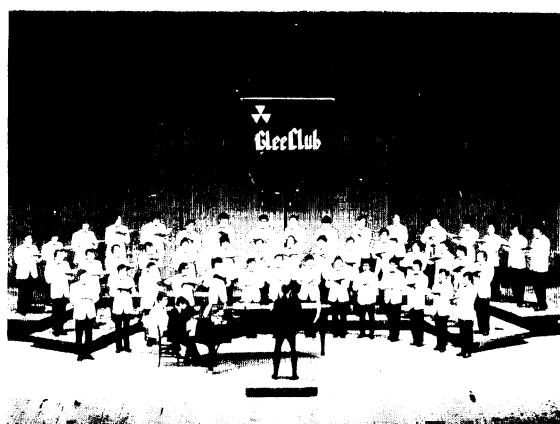
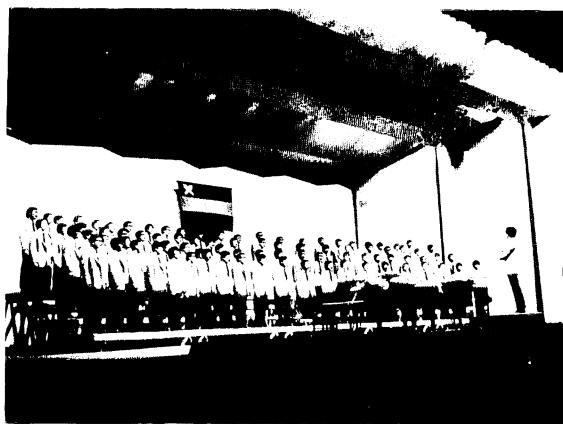
(和洋 200室 全室バス・トイレ・カラーテレビ付)  
(ま 1人部屋 3,600円より お2部屋 6,500円より )

〈京都国際ホテル新館〉

**ホテルフジタ京都**

京都・鴨川二条大橋西詰 075(222)1511

## クラブ紹介



### 慶應義塾ワグネル・ソサイエティー男声合唱団

リヒアルト・ワグナーを冠した我々のクラブも一昨年創立70周年を迎え、ワグネリアンである我々はその伝統を受けつぎ、新たな前進を続けるべく努力してまいりました。そこには木下保、畠中良輔両先生をはじめ、大久保昭男先生、三浦洋一先生、北村協一先生方の常に変わらぬワグネリアンに対する暖かい愛情があったからに他なりません。百名に何々とするそれぞれ部員は、それぞれ考えも違いますが、そこにおいて我々がまとまっているのは皆それが音楽というものに愛情を感じているからです。そこには言葉では言い表わすことのできないものがワグネルを頂点として一人一人と糸で結びつきあっていいるようです。ワグネルライフの一年間は定期演奏会、東京六大学、早慶交歓演奏会、春夏の合宿及び演奏旅行、そしてこの東西四大学演奏会等数多くありますが、それらのすべてに対して最高の空間芸術を創造するべく見えないものに向かって前進することは我々の心に、すばらしいものをあたえてくれているようです。このように書いていますとしかめつらをした人間の集合体のようですが、実はもっと幅広い人間の集合体なのです。女子大とのハイキングになれば皆奮って参加しゲームに打ち興じたり、中国研究会、その他色々のゲームに授業の合い間？を縫ってかけつけるのです。そしてしっかりと気分転換をしてクラブの練習に出るという若さにあふれた毎日を送っているのです。これからも、ワグネリアンは音楽に対して常に新鮮な気持をもってワグネルトーンと言うものを作りあげるべく前進して行きたいと思っておりますので皆様方の遠慮ない御批判と私たちに対する変らぬ御声援をお願い致します。



### 同志社グリークラブ

我がクラブは、今年で創立68年を迎え、その目的たる「同志社精神を載し、メンバー相互のメンタルハーモニー・カレッジライフの向上」に不断の精進を続けております。

明治34年頃は主として讃美歌を歌う聖歌隊的なものであったのですが、明治44年、現名誉顧問の片桐哲先生がこれをグリークラブと名付けられ、始めて組織化されました。以来70年近い輝かしい歴史の間には、その足跡は遠く満州、朝鮮、中国、台湾に及んでいます。そして、1,000名を超える先輩を送り、内田栄一、大中寅二、湯浅永年、山口隆俊、宅孝二、水谷央、今西善治郎の諸氏もその一人であります。

グリークラブを紹介しますと、定期演奏会、東西四大学演奏会、同閏交歓演奏会、テレビ、ラジオ放送、夏の演奏旅行、春夏合宿などに多忙な一年間であります。

一方、大学四年間のグリークラブという見方をしますと、新入部員はまず4月から夏休みまで、「Fresh」と呼ばれ、御所時代というのを過し、そこでグリー一般教養を教えられます。夏の合宿で洗礼式があって、四年生から洗礼を受け、「old」の仲間入りをします。そして、四年間音楽に取組み、Farewell Concertで先生や下級生に送られて去る。このように音楽というすばらしい、そして不思議な世界に入り若い力をぶつけ、音楽を友としています。

現在、福永陽一郎先生を技術顧問、大久保昭男先生をヴォイストレーナーとしてお迎えし、より高度な音楽の創造をと努力いたしております。

### 真珠と宝石

最高品質

### 山勝真珠店

- 神戸・さんちか店 三宮さんちかタウン(ハイモードタウン)  
TEL 神戸 (391)-4325~6
- ポート店 神戸港第4突堤(ポートターミナル3階)  
TEL 神戸 (331)-1561
- 大阪・心斎橋店 大阪市南区心斎橋筋1-11(大丸前)  
TEL 大阪 (251)-1287
- 中津店 大阪市大淀区東洋ホテルアーケード  
TEL 大阪 (372)-6854

あなたの宝石コンサルタントとしてお気軽にご利用下さい

## クラブ紹介



### 早稲田大学グリークラブ

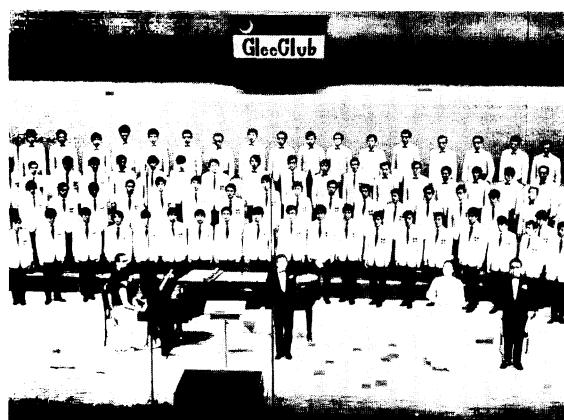
早稲田大学グリークラブの母体は大正年間にあるが、現在のような早稲田大学グリークラブの正式名称で活動し始めたのは、戦後のことである。

現在は早稲田大学文化団体連合の中で、最大の規模を有し、着実な活動を続け早稲田の代表的サークルとして活躍している。約130名の部員は、厳格な規律の下に、合唱を通じ音楽を追求すると共に、部員相互に親交を深め、団体生活の中から多くの物を学びつつ、人格形成を目指し、有意義な学生生活を送っている。

年間の主な行事は、定期演奏会を筆頭に、当東西四大学合唱演奏会、東京六大学合唱演奏会、送別演奏会、早慶交歓合唱演奏会、ボニージャックスとのジョイントコンサート等である。又この他に、隨時テレビや高校の文化祭などに出演したり、国内の演奏旅行を行なったり、多彩な活動を行なっている。

一昨年には、幸運にもドイツ、イスラエルに演奏旅行をするチャンスに恵れ、又、今春、第三回世界大学合唱祭の日本代表という栄誉を担い、1ヶ月間アメリカ演奏旅行を行ない帰国したばかりである。参加国、16ヶ国中、我々は他の合唱團に比べ、優るとも劣らぬ実力を發揮できたと自負しております。

今後も一歩一歩着実に歩み続けたいと考えておりますので、何卒よろしく御指導、御鞭撻のほどをお願い致します。



### 関西学院グリークラブ

関西学院グリークラブがわが国最古の男声合唱團として誕生したのは、1899年のことでした。キリスト教精神によって建てられたこの学院には明治29年以来毎年1回英語会が催されていましたが、明治32年そのプログラムに合唱を入れようということになり合唱團が組織されて当時の吉岡院長がその合唱團を「Glee Club」と名づけました。これが日本の数あるグリークラブの起源となったのです。

以来73年間、関西学院グリークラブは、恵まれた学院の宗教的雰囲気と内外の暖かい御指導、そして何よりも歌うことの好きな幾多の先輩達の努力によって、はぐくみ育てられてまいりました。中でも山田耕作、津川主一、由木康、林雄一郎、北村協一等の諸氏は私達の誇りとする大先輩であり、またポピュラー面ではザ・シャデラックス等がグリーのO Bとして活躍されています。

全日本合唱コンクールでは数多くの優秀な成績をおさめてきた関学グリーは昭和38年に台湾演奏旅行、同40年にはニューヨークで開催された第1回世界大学合唱フェスティバルに日本代表として名譽ある指名招待をうけ渡米、同45年には延世大学の招きで韓国演奏旅行と、過去3度の海外演奏旅行を行なってまいりました。

又昨年9月には70周年記念事業の一環としてのグリークラブホールが、O B・現役の努力と学院当局の好意により堂々完成し、私達クラブ員が最も自負するところのどの合唱團よりも量の多い練習を、より充実したものに出来ることを最大の喜びとしています。とかく即席立てのものが歓迎される昨今、60余名の部員はよりすぐれた音楽を創り出そうとメンタルハーモニーをモットーに日々練習に励んでおります。

## 欧風料理

宴会・クラス会 ￥ 800 コースより

レストラン 六甲

鳥丸通上立売上る西側  
TEL 432-1427

…小生、きょうは柄にもなく…

# 夏こそわが季節トロージャンサマースーツ



太陽のトロージャン



この夏、トロージャンからの提案——キリッとドレスアップして太陽に挑戦してみませんか。夏あついのはあたりまえ。逃げようとすればするほどがまんできなくなるのが夏の暑さというものです。この燃える90日を快楽にやるのはあなたのハートしだい。用意はできています。もうおなじみの盛夏スーツをはじめ、夏にいどむ色、柄、

素材を大胆に駆使した数々のトロージャンサマースーツ。新しいミディ・シェーブド・ラインのくっきりとしたハイウエストが新鮮。85ものサイズがあなたにぴったりフィットします。夏はもう目の前。あなたもこのイキなサマー・スーツでこの夏をみごとにものにしてください。

トロージャン全国59の指定百貨店で販売！

WORLD-FAMOUS MEN'S WEAR  
**トロージャン**

京都店5階・大阪店(本館)3階・神戸店4階  
和歌山店4階/東京店2階・町田店6階・八王子大丸2階

**大丸**  
京都店

## JUJIYA

中・三条寺町東入  
211-2431

## 上海祇園店 祇園下河原 531-0171

大小宴会場 個室有10~120名様  
和、中、すきやき、てっちり、水煮、各¥800より  
酒又はジュース1本付

100名様  
ご利用グループ幹事様へ1万円進呈中

★高級紳士服専門店チェーン  
◎**マルボン**メンズウェア

京都河原町店  
中京区河原町通御池上ル  
TEL (075)231-4559

大阪・千里中央店(千里サンタウン)  
大阪・阪急FIVE店(阪急FIVEビル2F)  
大阪・船場10号館店(船場センタービル)  
大阪・中もず店(ダイエー中もずショッピングセンタ)  
奈良・西大寺店(奈良ファミリー)



## すき焼 会席

## 円山観光会館

京・円山公園藤ノ棚前  
〒 561 0025 0026

• 幸せをワタベの衣裳でお嫁入り



ご婚礼衣裳 御結納  
西陣 **ワタベ**

本店 京都市上京区烏丸出水電停前 TEL. (431)3141代

## 京都キリスト教書店

## ヨルダン社

〒 602 京都市上京区荒神口通河原町東入ル  
電話 (075) 211-6675 振替京都 594

味の  
ハーモニー

1 F



TEL (781) 5161~4 TEL (781) 5165

京都・叡電出町柳駅前

# 東西四大学合唱演奏史

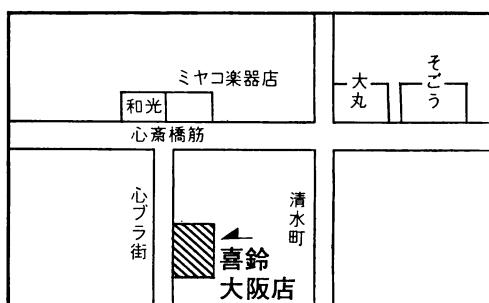
- |                                                                                                                                               |                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回 昭和27年9月21日 同志社栄光館<br>9月22日 大阪産経ホール<br>合同演奏 「Ave Maria」「愛でし友」                                                                              | 第12回 昭和38年6月22日 東京文化会館<br>23日 東京文化会館<br>合同演奏 「若者の歌」                               |
| 第2回 昭和28年9月20日 日本青年館ホール<br>合同演奏 「いざ起て戦人よ」「おお美しき星よ」「希望の島」                                                                                      | 第13回 昭和39年6月13日 京都会館ホール<br>14日 大阪フェスティバルホール<br>合同演奏 「Credo」                       |
| 第3回 昭和29年9月18日 同志社栄光館<br>19日 大阪産経ホール<br>合同演奏 「Zum Gloria」「Zum Sanctus」「秋のピエロ」                                                                 | 第14回 昭和40年6月19日 東京文化会館<br>20日 東京文化会館<br>合同演奏 「蛙の歌」                                |
| 第4回 昭和30年9月18日 日本青年館ホール<br>合同演奏 「Die Nacht」 シューベルト「詩篇」103篇 Wedianita                                                                          | 第15回 昭和41年6月13日 京都会館ホール<br>14日 大阪フェスティバルホール<br>合同演奏 「枯木と太陽の歌」                     |
| 第5回 昭和31年9月15日 宝塚大劇場<br>16日 同志社栄光館                                                                                                            | 第16回 昭和42年6月24日 東京文化会館<br>25日 東京文化会館<br>合同演奏 歌劇『フィデリオ』より「囚人の合唱」                   |
| 第6回 昭和32年6月23日 日本青年館ホール<br>合同演奏 「春が来たかと」「ふるさと」                                                                                                | 第17回 昭和43年6月22日 京都会館第一ホール<br>23日 大阪フェスティバルホール<br>合同演奏 「阿波祈祷文」「黙示」                 |
| 第7回 昭和33年6月21日 同志社栄光館<br>22日 大阪毎日ホール<br>合同演奏 「Rock a my soul」「What kind a shoes」「Never said a mumbarin'word」「Joshua fit de battle of Jericho」 | 第18回 昭和44年6月22日 東京文化会館<br>23日 東京文化会館<br>合同演奏 「デュオバのミサ」より「Kyrie」「Credo」「Agnus Dei」 |
| 第8回 昭和34年6月21日 共立講堂<br>合同演奏 山田耕筰作品集「からたちの花」「待ちぼうけ」「あわて床屋」「ペチカ」                                                                                | 第19回 昭和45年10月26日 大阪フェスティバルホール<br>27日 同志社大学学生会館ホール<br>合同演奏 「海の構図」                  |
| 第9回 昭和35年6月25日 京都会館ホール<br>26日 大阪フェスティバルホール<br>合同演奏 「兵士の合唱」「巡礼の合唱」                                                                             | 第20回 昭和46年6月26日 東京文化会館<br>27日 東京文化会館<br>合同演奏 「Hymne An Die Musik」                 |
| 第10回 昭和36年6月17日 東京文化会館<br>18日 東京文化会館<br>合同演奏 「枯木と太陽の歌」                                                                                        |                                                                                   |
| 第11回 昭和37年6月23日 京都会館ホール<br>24日 大阪フェスティバルホール<br>合同演奏 「Listen to de Lambs」                                                                      |                                                                                   |

## きもの工芸

喜 鈴

喜 鈴

きもの 独特の色彩にて現代のセンスに生きる店



大阪市南区心斎橋筋1-20  
TEL (271) 7489・5261  
東京都渋谷区道玄坂二丁目(東急百貨店本店5階)  
TEL (462) 3404

軽快派ロージェント



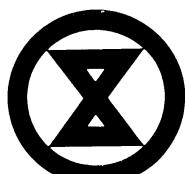
light weight  
Wool

・ライトウェイトウールの  
そごうオリジナル高級紳士服

ロージェント

激しいアクションにも着くずれしない確かな仕立て  
多彩な色柄 豊富なサイズが好評です

- ロージェントスーツ (鹿産生地使用 毛100%) 23,000円から
- ロージェントジャケット (毛100%) 15,000円から



そごう

大阪・神戸・東京

千葉そごう

いよてつそごう (松山)

みどりの大地に陽は広がり  
開かれたゲートから あふれいづる  
若者の群 自由の息吹  
彼らの語る言の葉は  
これ 男の世界への参加

All the world loves a lover. All the world loves MANDOM. Grooming the world's great lovers. Man o man—that's MANDOM.



### 男の体臭・マンダム

ギャラントタイプの香りで統一したマンダム群		
ヘアリキッド	150ml	¥500
ヘアトニック	150ml	¥500
スキンローション	120ml	¥500
スキンミルク	120ml	¥500
スキンクリーム	60g	¥500
ホマード	60g	¥500
チック	50g	¥500
ヘアスプレー	130g	¥500
ヘアクリーム	150ml	¥500
ヘアコンディショナー	100g	¥500
シェーピングフォーム	160g	¥500
オーデコロン	120ml	¥1000
トラベルセット	3品入	¥500